問　新年度の村政運営の基本方針は

答　５つの最重点施策を設定し取組む

新政とうかい
村上（むらかみ）　邦男（くにお）　議員

問　平成31年度村政運営の基本的な考え方、財政状況の見通し、および人口ビジョンの見直し等はどうなっているか。

答　第５次総合計画の集大成期に入る31年度は、「子育て」「教育」「国体」「産業振興」「交流館」の５つを最重点と位置付けた。財政については、２０２２年に新規事業所の操業による村税増収等により、財政調整基金の大きな減少は無い見通しである。また、人口ビジョンは総合計画と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に合わせて、将来展望を提示したい。

学校等へのエアコン設置の進捗は

問　昨年の議会で小中学校および幼稚園へのエアコン設置の補正予算を可決したが、必要な台数確保の見通し、また設置に向けた進捗はどうか。

答　すでに契約も締結し、機器の取り付け工事を一部開始している。また、空調機器も必要台数を確保しており、予定どおり本年６月には供用開始できる見通しである。

答　予定どおり本年６月に供用開始

空調の設置工事が進む小中学校の普通教室

国道２４５号線拡幅の進捗は

問　国道２４５号線の拡幅工事が進んでいるが、国体開催までにどの程度進捗する見通しなのか。

答　県道佐和停車場線交差点から阿漕ヶ浦公園入口までの約３㎞の区間を分割施工の計画であり、平成30年度末では５７０ｍの区間において４車線化が完了している状況。国体開催に合わせては、先の全区間は暫定２車線での供用見込みであるが、阿漕ヶ浦公園入口の北側については、公園への右折レーンと歩道整備を進めていく予定である。

答　国体開催を見据えて推進する

国体開催に合わせて整備が進む阿漕ヶ浦公園入口付近